

シナノゴールド

登録番号：第7328号

登録年月日：平成11年8月11日

登録者：長野県（長野県長野市大字
南長野字幅下692-2）

育成者：臼田彰 小松宏光 羽生田
忠敬 山下裕之 宮沢孝幸

小池洋男 小林祐造 飯島

貞次 馬場孝幸

来歴：「ゴールデンデリシャス」
と「千秋」の交雑実生

育成地：長野県須坂市（長野県果樹
試験場）

特性

■栽培特性

樹姿は中間からやや直立て、樹の大きさ、樹勢はいずれも中である。枝梢の太さは中、節間長は短、皮目の多少は中、枝梢の毛茸の多少は僅かである。短果枝の形成、花芽の着生はいずれも良好で、えき花芽の着生は少い。花色（蕾の色）は濃桃、花弁の形は長円、薬の色は淡黄である。花粉の量は中である。

葉身の形は中間で、大きさは短、色は緑である。たく葉の形は鎌形、長さは短、葉柄の長さは短、太さは中である。育成地における開花期は5月上旬で、「ふじ」や「つがる」よりやや遅い。熟期は9月下旬～10月上旬で、「王林」より3週間程度早い。満開から成熟までの日数は155日程度である。

花粉は稔性があり、「ふじ」、「つがる」など主要品種とは相互に交雫和合性である。「秋映」、M9とは交雫不和合性である。自家不和合性であるが、単為結果性が認められる。

ジューンドロップ、収穫前落果ともに少ない。コルクスポット、ビターピットの発生はともに少ない。

■果実特性

果実の大きさは300g前後で大きい。果形は長円、王冠は中程度である。果皮を被う色は浅緑黄～浅黄色、地色は黄緑色で、縞は無である。果面のさびはこうあ部にみられ、その程度は中である。果こうの長さ、太さは中位で、肉こうの発生はみられない。

果肉の色は黄白色で、果肉褐色化の度合いは弱い。果肉の硬さ、きめはともに中程度で、果汁が多く、蜜は入らない。甘味は中位で、糖度は14～15%程度、酸味は中位で、滴定酸度（リンゴ酸換算）は0.4～0.5%である。果肉の紛質化の程度は中で、日持ち性は室温で3週間程度、冷蔵で3ヶ月程度である。この時期の品種としては鮮度保持期間は長い。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

病虫害に対する抵抗性は、既存品種並みと思われる。試作の範囲では通常の防除で病害虫の大きな被害はみられていない。斑点落葉病に対する接種検定の結果では、り病性は「ふじ」よりやや低かった。

枝が「ふじ」と比べ直立しやすいので、整枝にあたっては誘引により樹形を整える必要がある。着果量は他の中生種と同じく概ね4～5頂芽に1果程度の基準で、実用的に充分な収量と果実の大きさが得られ、隔年結果も認められていない。黄色品種であるため、収穫時期の判定が困難であるが、「王林」用カラーチャートで着色指数6以上（果実赤道部で測定）、地色指数5以上（果頂部で測定）程度の果実を目安に収穫する。

■地域適応性

既存のリンゴ栽培地域であれば、栽培が可能と考えられる。しかし、標高が高く寒冷な地域で栽培された果実は、温暖な地域で栽培された果実に比べ、酸味が強い傾向が認められている。

（小松宏光）